

実践 1

ふるさと 甚目寺

－「かかわる，つたえる，つながる」学習や活動を重視する ESD の取組－

あま市立甚目寺小学校 侘美 茂

1 はじめに

ESD は、「持続可能な社会の担い手を育む教育」と言える。日本ユネスコ国内委員会は、ESD の必要性や概念について、「今，世界には，環境，貧困，人権，平和，開発など様々な問題がある。これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え，身近なところから取り組むことにより，それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと，そして，持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動である」と説明している。1)

将来の見通しがつきにくい現代において，子どもたちに必要な力は，次代に向けて様々な問題を，多くの人と話し合い，すり合わせながら解決していく意欲や価値観，能力だと考える。これらの力を身近な問題を解決していく実体験の積み重ねによって，身に付けさせていきたい。本校では，ESD の大切にしている「価値観」「育みたい能力・態度」「学びの方法」を基本的視点として，総合学習「ふるさと甚目寺」（生活科・総合的な学習の時間）を中心に，今までの学習や活動の見直しと持続可能な取組にする努力を続けている。

本校の周りには，飛鳥時代に創建された甚目寺観音をはじめとする歴史的・文化的・伝統的な遺産が数多く存在する。この地域を「ふるさと甚目寺」としてつなげていくために，自分たちがこの地域で大切にしたいものに目を向け，人や地域に関わり，人から人へ伝え，人や地域とつながる「かかわる，つたえる，つながる」学習や活動を重視した取組を行っている。

2 研究の経過

本校は創立 140 周年の歴史をもつ学校であり，古くから地域との結び付きがある。生活科・総合的な学習の時間でも地域について調べたこと，体験したことを発表してきた。しかし，それは生活科・総合的な学習の時間だけのものとして，発表会に向けての取組という単発的な学習や活動になっていたところがあった。今までの取組の改善に向け，平成 22 年度に ESD の導入準備を始めた。まず研究を推進する教員が，校外研修に出かけた。平成 23 年度から ESD の考え方，視点を取り入れ，「人と人とのつながり，人と地域とのつながりを大切にする ESD の取組」を研究テーマとして，生活科・総合的な学習の時間をまとめ，総合学習「ふるさと甚目寺」とし，これまでの取組を見直し，整理を始めた。さらに，ESD・ユネスコスクール研修会に出かけ，ユネスコスクール加盟に向けての準備を始めた。平成 23 年度の研究については，以下のとおりである。

(1) 研究の目的

2 年生の生活科，「レッツゴー！町たんけん」では，地域のお店について学習する。出かけるお店は甚目寺観音の門前町として残る昔ながらの商店街の中のお店がほとんどである。どのようなお店があるか事前に調べ，実際にお店に出かける。お店は何を売っているのか，どのような仕事をしているか話を聞き，質問に答えてもらって帰ってくる。その後お礼の手紙を書いて届けるというのが例年の学習の流れである。お店の人と関わることはできるが，持続可能な社会を築くために，人と人とのつながり，人と地域とのつながりを大切にできたかと考えると，お店の人との関わりが深まらず，今まで

の学び方に疑問が出てきた。しかし、今までやってきたものを一からつくり直す必要はなく、従来の学び方を、教える側がE S Dの考え方、視点で見直し、創意工夫していけばよいと考える。

このような考えから、E S Dについて、学校全体の取組とE S Dの考え方、視点を取り入れた授業づくりについて実践し、検証することとした。

(2) 研究の方法

ア E S D活動テーマづくり

「つながろう人 つなげよう甚目寺 ーかかわる つたえる つながるー」

学校教育全体をE S Dの考え方、視点を取り入れた教育活動になるように、「全ての教育活動につながるキーワードをつくる」「人権を尊重する態度を育むことを柱とする」「学校教育目標を基にテーマを決め、目指す子ども像と育みたい力を設定する」「教科間でつながる教育活動を実践する」「人と人とのつながり、人と地域とのつながりを大切にする」の5つのポイントを設定し取り組んだ。

イ E S Dカレンダーと総合学習「ふるさと甚目寺」の指導計画および関連指導計画づくり

従来の人権教育年間指導計画や生活科・総合的な学習の時間の指導計画を「指導計画は、育みたい力を明確にしたねらいと学習過程、地域の人材・関係機関と連携したものを作成する」「総合学習『ふるさと甚目寺』と他の教科・活動とのつながりを明確にする」「実践時期などを考慮して、系統性や関連性を考える」「E S Dカレンダーの構成について、実践しながらよりよいものに修正していく」の4つのポイントで見直した。

ウ E S Dの考え方、視点で見直す授業づくり

総合学習「ふるさと甚目寺」を中心に、持続可能な社会を築くための力を育むために、持続可能な開発のための教育の10年推進会議（E S D－J）が出している文献を参考に、「五感を働かせることができる体験、校内外の両方の体験をつなげる」「子どもの主体性を尊重し、それぞれの発見・気づきを重視する」「子どもたちが、発見したり気付いたりしたことを表現する機会をもたせる」「地域のような立場、世代の人たちと学ぶ」「地域の人や自分たちが、この地域で残したいもの、守りたいものに目を向ける」の5つの学び方を設定した。

(3) 研究の成果

ア E S D活動テーマの設定とE S Dカレンダー・指導計画・関連指導計画の作成の成果

今までの研究主任を中心とした取組から、学校全体の取組として教師全員がE S Dの考え方、視点を理解するようになった。また、人権教育や生活科・総合的な学習の時間の指導計画を見直すことによって、教える側の考えが整理され、見通しをもってより計画的に指導できるようになった。そして、E S Dの考え方、視点が総合学習「ふるさと甚目寺」、教科・道徳、特別活動のどこにあるか、またそれぞれの関わりが分かった。さらに、発表会に向けた生活科・総合的な学習の時間になっていたのが、年間を通して取り組めるようになった。

イ 地域の資源、人材、関係機関の積極的な活用

人と人とのつながり、人と地域とのつながりを意識するようになって、人材や関係機関の活用を積極的に行うようになった。それとともに教師が地域をよく調べ、活用できる資源、人材を開拓するようになった。

ウ E S Dの考え方、視点で見直す授業づくりの成果

教える側が本物の体験をさせようと工夫することによって、子どもたちはすばらしい発見や気づきをするようになった。また、この発見や気づきは、学習する対象への興味・関心を更に高め、人や地

域に積極的につながろうとする子どもが出てきた。子どもたちに地域への愛着心が育まれてきたことを感じた。また、「レッツゴー！町たんけん」で学んだことを野菜栽培に生かしたり、野菜栽培を算数の学習につなげたりするなど、今まで気付かなかった学習や活動との関わりを意識する子どもが出てきた。

3 研究の目的

平成 24 年度は、国立教育政策研究所の「学校における持続可能な発展のための教育（E S D）に関する研究〔最終報告書〕」に基づいて、総合学習「ふるさと甚目寺」の学習や活動に、「持続可能な社会づくりの構成概念」と「E S Dの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」を取り入れ、教材を内容的・空間的・時間的につなげることで、人や地域をつなげることで、身に付けた能力・態度を行動につなげることを大切にしたい学習指導をさらに進めるための取組を実践し、検証することとした。

4 研究の方法

(1) E S D活動テーマの見直し

学校教育全体をE S Dの視点に立った活動になるように、昨年度のE S D活動テーマをさらに見直す。見直しのポイントは、昨年度までの4つの育みたい力をE S Dの視点に立った学習指導で重視する7つの能力・態度にする。

(2) 各学年の総合学習の活動テーマ・学習内容の決定

各学年のキーワード、1・2年「地域」、3年「福祉」、4年「環境」、5年「産業」、6年「歴史・文化」に基づいた活動テーマと学習・活動内容を決定する。

(3) E S Dカレンダーの見直しと新しい形式での年間指導計画づくり

昨年度のE S Dカレンダーを教材の内容的・空間的・時間的につなげることをさらに意識し、各学年の児童の実態に応じたものをつくっていく。また、昨年度つくっていたE S D関連指導計画と年間指導計画を一つに合わせ、新年間指導計画をつくる。新年間指導計画には重視する能力・態度の評価規準を入れる。

(4) 総合学習「ふるさと甚目寺」の評価とE S Dの学校評価のためのアンケートの作成と実施

昨年度までの4つの育みたい力から重視する7つの能力・態度の変更にともない、総合学習「ふるさと甚目寺」の評価規準の作成とE S Dの取組を学校全体・各学年で評価できるアンケートを作成し、実施する。

ア 7つの重視する能力・態度から各学年の学習や活動の内容や6年間を見通し、特に該当学年で指導する能力・態度を選択し、それを観点とした評価規準を作成する。総合学習「ふるさと甚目寺」の評価を総合的な学習の時間の評価として、新しい観点・評価規準で通知表、指導要録への記載を行う。

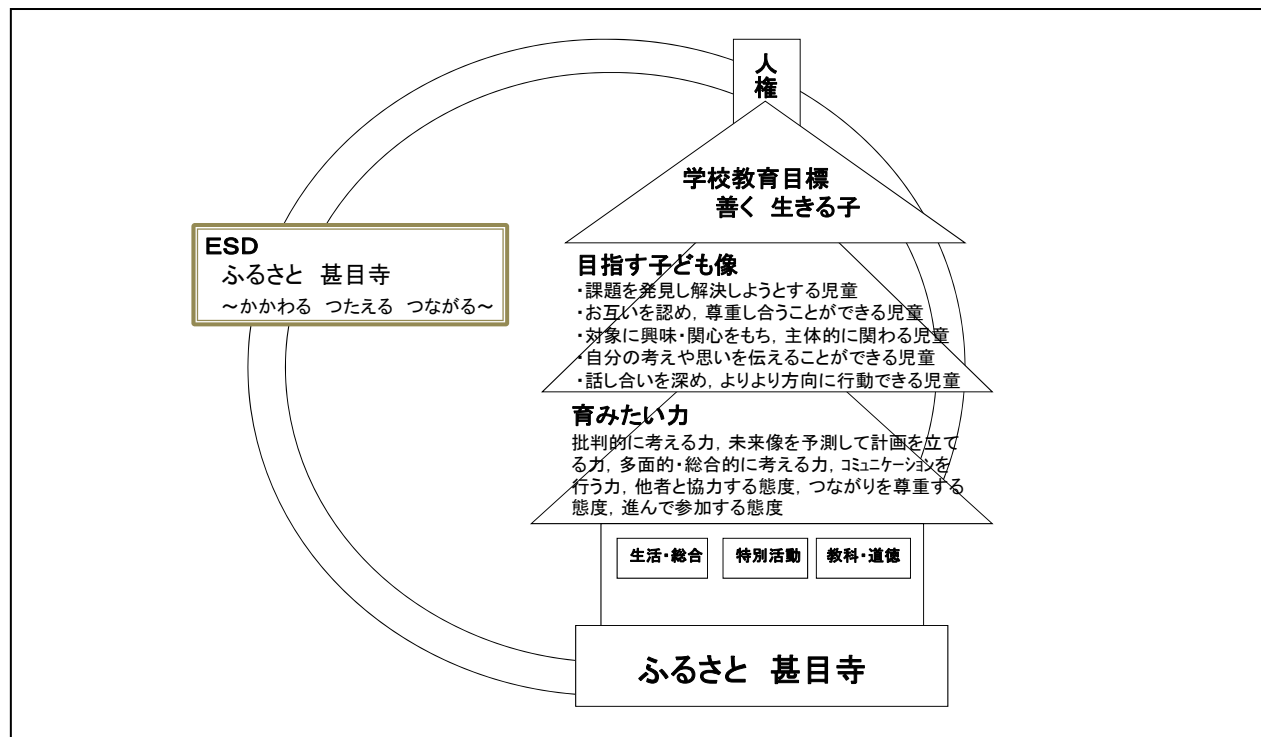
イ 学習や活動の事前事後のアンケートを作成し、実施した結果をE S Dの学校・学年全体の評価として、取組の改善につなげていくとともに、結果の蓄積によりE S Dの長期的評価とする。

5 研究の内容

(1) E S D活動テーマの見直し

昨年度までの4つの育みたい力、「問題力」・「関係力」・「表現力」・「行動力」を7つの重視する能力・

態度「批判的に考える力」・「未来像を予測して計画を立てる力」・「多面的・総合的に考える力」・「コミュニケーションを行う力」・「他者と協力する態度」・「つながりを尊重する態度」・「進んで参加する態度」に変更した。



(2) 各学年の活動テーマと学習内容の決定

各学年の活動テーマと学習や活動について、持続可能な社会づくりを捉える構成概念を明確にし、本校で重視する能力・態度を設定した。本校では、構成概念の「Ⅱ相互性」と「Ⅴ連携性」を学校全体の、「Ⅵ責任性」を高学年の共通な要素として設定した。また、重視する能力・態度は、6年間で育みたい能力・態度として「⑦進んで参加する態度」を、低学年では「④コミュニケーションを行う力」と「⑤他者と協力する態度」を、高学年では「③多面的・総合的に考える力」と「⑥つながりを尊重する態度」を設定した。

学 年	各学年の 活動テーマ	主な単元名	構成概念						重視する能力・態度						
			I	II	III	IV	V	VI	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	みんな なかよし	①いちねんせいになったよ ②さあみんなのでかけよう ③あきって気持ちがいいね ④わくわくふゆがやってきた ⑤たのしかったね1年かん ⑥ぐんぐんのびろ		○	○		○	○				○	○		○
2	この町大すき ！ぼくたち町 のたんけんた い	①レッツゴー町たんけん ②もっと知りたいな町のこと ③こんなすてきな町なんだ ④ぐんぐんのびろ・げんきにそだて	○	○			○					○	○	○	○

3	人にやさしい 町づくり 福祉	①福祉って何だろう ②福祉ボランティアについて学ぼう ③自分たちにできることをしよう ④お年寄りから学ぼう		○		○	○	○				○	○	○	○
4	環境に やさしい 町づくり 環境	①生活を見つめ直そう！ゴミ・水調査隊 ②ストップ温暖化！甚小グリーンカーテン ③甚目寺エコチャレンジャー		○	○		○	○			○	○		○	○
5	われら 産業調査隊 産業	①甚目寺の伝統産業を調べよう ②甚目寺の主な産業を知ろう ③甚目寺の産業を知ろう ④甚目寺の産業を応援しよう	○	○			○	○	○		○			○	○
6	われら 歴史・文化 調査隊 歴史・文化	①甚目寺の歴史・文化を知ろう ②甚目寺の歴史・文化をまとめよう ③われら甚目寺ボランティア隊		○	○		○	○		○	○			○	○
項目の合計			3	6	2	2	6	4	1	1	3	4	3	5	6

【構成概念】

- I 多様性 II 相互性
III 有限性 IV 公平性
V 連携性 VI 責任性

【重視する能力・態度】

- ①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力
③多面的・総合的に考える力 ④コミュニケーションを行う力
⑤他者と協力する態度 ⑥つながりを尊重する態度
⑦進んで参加する態度

(3) ESDカレンダーの見直しと総合学習の新しい形式での年間指導計画づくり

本校のESDカレンダーには、人権教育の内容も一部含まれている。本校の人権教育のねらいは、児童が、自分自身を含めた全ての人は、かけがえのない大切な存在であることを知り、相手の気持ちを思いやって行動しようという心を高めることである。

このねらいを実現するために、他者とのつながりを深める手だてとして、異学年・ペア学年を中心とした交流活動の充実に努めるとともに、望ましい人間関係づくりを目指して、ソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターを取り入れた交流活動に取り組んでいる。また昨年度より、自分の意見や気持ちをその場にふさわしい表現でできるようなアサーショントレーニングや人に伝わりやすい話し方ができるように、ハッピートークトレーニング（コミュニケーション技術を身に付けるトレーニング）も行うようになった。このような取組により、児童の自尊感情が高まったり、相手のことも思いやった表現ができたりするなど、自分も相手も大切にすることができる児童の育成につながっている。

ESDにおいても、次代に向けて様々な問題を、多く人と話し合い、すり合わせながら解決していく過程で、お互いに認め合い、権利を尊重しながら、つながり合おうとする人権尊重の実践力が大切である。ESDカレンダー内で人権教育の内容と生活科・総合的な学習の時間の内容とが、直接つながっていても、ESDを進めるにあたって、必要な人権教育の内容として示してある。

(4) 総合学習「ふるさと甚目寺」の評価規準の作成とE S Dの学校評価のためのアンケートの作成と実施

ア 各学年の重視する能力・態度の観点と評価規準

本校の総合学習「ふるさと甚目寺」の評価について、今年度より下の表のように評価規準を作成し、重視する能力・態度を評価観点とする児童に育みたい力を文章表記した。

第1学年「みんな、なかよし！」(74時間)				
【ねらい】	○学校や地域を探索する活動を通して、自分と身近な人々、社会、自然とのつながりに気づき、愛着をもつ。 ○栽培活動を通して、身近な植物に興味・関心をもち、植物を通して地域との関わりをもつ。			
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力	⑤他者と協力する態度	⑦進んで参加する態度	
【評価規準】	・学校や校庭の探索では、出会った先生や地域の人に進んで挨拶をすることができる。	・友達と仲良く探索することができる。 ・思いやりの気持ちをもって、友達と協力しながら、栽培活動に取り組むことができる。	・季節の草花の栽培活動を通して、進んで地域や地域の人たちと関わろうとすることができる。	
第2学年「この町大好き！ぼくたち町のたんけんたい」(38時間)				
【ねらい】	○地元のお店街のお店や町の中をたんけんするなどの活動を通して、人と人とのつながりや人と地域とのつながりに気づき、地域への愛着心を育む。 ○野菜の栽培を通して、校外で体験したこととのつながりに気付く。			
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力	⑤他者と協力する態度	⑥つながりを尊重する態度	⑦進んで参加する態度
【評価規準】	・探検先の人に、質問したいことをはっきり伝え、聞き取ったことを簡潔にまとめることができる。	・探検では、グループで協力し、相手の立場を考えて行動することができる。 ・町探検で気付いた町のよさや人々に関わることを楽しむを、グループで助け合って発表することができる。	・季節を通しての町の変化が分かり、自分たちの生活との関わりや自分の町のよさに気付く。	・グループ学習では、進んで自分の意見を出し、最後まで責任をもって取り組むことができる。 ・自分たちの町が良さに気づき、町の催しなどに進んで参加しようとする。
第3学年「人にやさしい町づくり」(38時間)				
【ねらい】	○自分が生活する町の福祉に目を向け、福祉のよさに気づき関わろうとする。 ○様々な体験活動や実践を通して立場の異なるものへの接し方や大切さに気付く。 ○見学や体験を通して、自分ができることを進んで考えて、実践する。			
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力	⑤他者と協力する態度	⑥つながりを尊重する態度	⑦進んで参加する態度
【評価規準】	・施設見学や福祉実践教室で、自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりすることができる。	・相手の立場になって考えて行動し、友達と協力して実践しようとする。	・福祉と自分とのつながりや関わりに関心をもち、進んで学び、交流しようとする。	・見学や体験を通して、人にやさしい町作りのために、自分ができることは何かを考え実践しようとする。
第4学年「環境にやさしい町づくり」(50時間)				
【ねらい】	○自分の身近な環境や、町の環境に関心をもち、関わろうとする。 ○自然や環境、人がつながっていることを知り、環境に対して自分なりの課題を見付け活動する。 ○他者の気持ちや考えを尊重することの大切さに気づき、自分の考えを伝える。 ○地域の人々との関わりを考え、自分の生活を工夫していく。			
【重視する能力・態度】	③多面的・総合的に考える力	④コミュニケーションを行う力	⑥つながりを尊重する態度	⑦進んで参加する態度
【評価規準】	・自然や環境、人がつながり、関わり合っていることを理解し、課題に対して様々な視点からとらえ、関連付けて考えることができる。	・他の児童と協力して活動し、相手の気持ちや考えを尊重しながら、自分の考えを簡潔に伝えることができる。	・自然や環境、人とのつながりや関わりに関心をもち、それを大切にすることができる。	・環境に関する活動に進んで参加し、よりよい環境にしていけるための方法を考え、実践しようとする。
第5学年「われら産業調査隊」(60時間)				
【ねらい】	○商店・工場・農家などに出かけ、それぞれの仕事を調べることを通じて地域の産業を知り、それをまとも・発信するとともに、働くという人間の営みに対する理解を深め、自分も社会の一員として生きようとする気持ちを育てる。			
【重視する能力・態度】	①批判的に考える力	③多面的・総合的に考える力	⑥つながりを尊重する態度	⑦進んで参加する態度
【評価規準】	・自分達が住んでいる地域の産業を調べることを通じて、自分に必要な情報を検討・整理し、考えを深めながら地域の産業について考えることができる。	・自分達が住んでいる地域の産業を調べることを通じて、それらを自分・地域・社会など様々な視点からとらえ、関連付けて考えることができる。	・自分達が住んでいる地域の産業を調べることを通じて、地域の産業のおかげで、自分の生活があることを実感することができる。	・自分達が住んでいる地域の産業を調べることを通じて、地域の産業のために、自分達が貢献できることを進んで考えようとしている。
第6学年「われら歴史・文化調査隊」(70時間)				
【ねらい】	○「ふるさと甚目寺」に残る史跡や伝統芸能などに触れることで、甚目寺の歴史の深さや価値を実感し、郷土への愛着を高める。 ○甚目寺の歴史や文化をより深く知ったことを発表会や地域ボランティア体験を通して発信し、ふるさと甚目寺が、自分にとって大切な郷土だということに気付く。			
【重視する能力・態度】	②未来像を予測して計画を立てる力	③多面的・総合的に考える力	⑥つながりを尊重する態度	⑦進んで参加する態度
【評価規準】	・甚目寺の歴史や文化を知るために、事前に知りたいことをまとめて、計画的に活動のための準備をすることができる。	・甚目寺の歴史や文化が引き継がれていることを理解し、その様々な視点から関連付けて考え、まとめることができる。	・お互いの考えを尊重し合いながら活動することができる。 また、甚目寺の歴史や文化が今の時代に受け継がれていることを感じることができる。	・甚目寺に住む一人として、体験したことを活かして甚目寺のためにできることを考え、実行に移そうと努力することができる。

イ 事前事後アンケート

E S D（総合的な学習時間）事前アンケート

3・4・5・6年 男・女

下の1から3の文を読んで、あてはまるア～エに、○をつけてください。

1 甚目寺をすばらしい町、よい町だと思いますか。

ア 思う イ 少し思う ウ あまり思わない エ 思わない

2 甚目寺を自分の「ふるさと」として、大切にしたいと思いますか。

ア 思う イ 少し思う ウ あまり思わない エ 思わない

3 甚目寺の現在や未来のために、何か考えたり、行動したりしたいと思いますか。

ア 思う イ 少し思う ウ あまり思わない エ 思わない

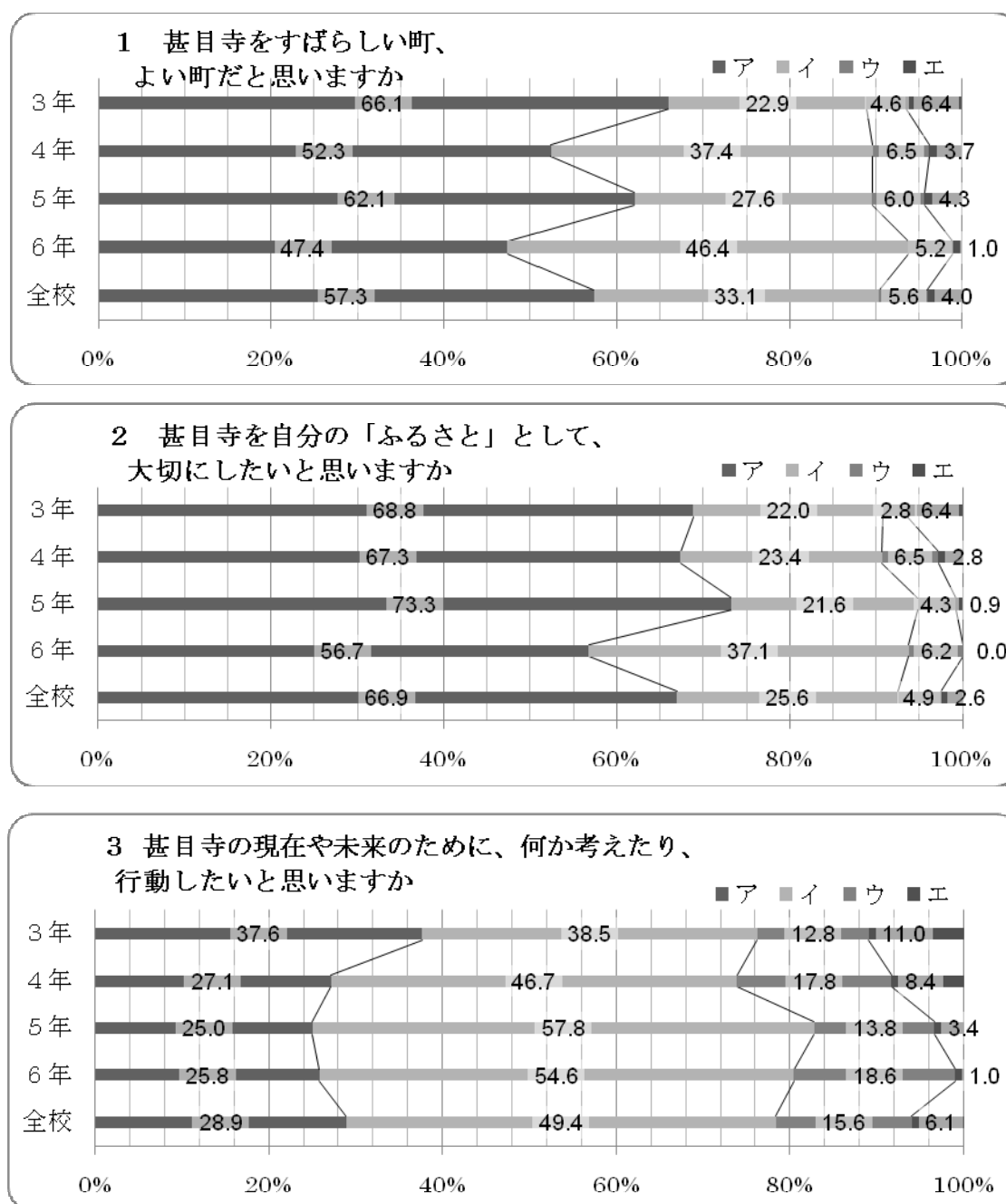
※ 「ふるさと」とは、生まれたり、育ったりした土地と考えてください。

事前アンケートは、本校のE S D活動テーマ「ふるさと甚目寺」と学校全体で重視する能力・態度「⑦進んで参加する態度」を確認したり、評価したりできる内容で作成した。実施学年はアンケートの内容が理解可能と考えられる3年生以上を対象とした。

事後アンケートは、各学年の学習内容が終了したら、事前アンケートの内容に各学年のねらい、

重視する能力・態度を確認したり，評価したりできる内容を付け加えて実施する予定である。

【事前アンケートの結果】



5 各学年の主な実践内容

(1) 第1学年の実践「みんな、なかよし」

ア 「いちねんせいになったよ」・「さあ！みんなでかけよう」・「ぐんぐんのびろ」の取組
自分のことを学級の友だちや先生に知ってもらうために、「どうぞよろしく」の学習で簡単な自己紹介の練習をし，4月最初の授業公開で友だちや保護者の前で発表会をした。5月には2年生が計画した「なかよくしよう会」で，2年生と名刺交換をしながら自己紹介をした。学校探検では，2年生に校内を案内してもらい，校内で出会った先生たちへのあいさつや各部屋に出入りする時のルールを学んだ。この体験を生かし，1年生だけでの学校探検から校庭探検へと，少しずつ世界を広げてい

くことになった。

6月に入り、学校周りの探検に出かけた。歴史ある古い町並みや商店街、田畑が一面に広がる風景、新しい家やマンションが建ち並び、国道や高速道路が通っている様子を見て、自分たちが住んでいるところが変化に富んだ「特色のある地域」であることを理解できた。振り返りカードには、「歴史がある甚目寺に住んでいてうれしいです」と感想を書く児童もいた。

7月には「えがおのアサガオ」運動として、児童が育てているアサガオの一部をプランターへ植え替えて、甚目寺駅や甚目寺観音、甚目寺会館に飾っていただいた。1年生ができる地域との関わりを考え、アサガオを飾ることで地域の人が笑顔になってくれたらと、取り組んだ。



アサガオをもってきました

イ 今後の取組

校区探検の時、「トイレ休憩」でお世話になった保育園を再度訪問し、年長児対象に「小学校の生活」を知らせる紙芝居を行う。また、「えがおのアサガオ」運動に引き続き、季節ごとの花をプランターに植え替えて、地域へ届ける。伝承遊びのゲストティーチャーとして、地域の人（シルバーボランティア）を招く予定である。

(2) 第2学年の実践「この町大好き！ぼくたち町のたんけんたい」

ア「レッツゴー！町たんけん」の取組

昔から甚目寺観音の東にある商店街や甚目寺駅周辺を、どんな店があるか、店ごとの違いや置いてある品物の種類などをみんなで見て回った。お店の人から「今年も探検に来てね」と声をかけられ、「ぼく、〇〇のお店に行きたい」とグループ探検への意欲をもつことができた。

グループ別に、行きたい店や聞きたいことなどを話し合った。事前に、あいさつなど場に応じた行動や人への接し方、質問の仕方を練習した。探検では、質問をすることによって店の人と話をしたり、肥料屋では一輪車を使って肥料を運ぶ体験をしたりして、十分に交流を図ることができた。また、保護者の付き添いボランティアに多くの協力が得られ、24のグループに一人ずつ付き添って進めることができた。そのため、聞き取りが的確にでき、子どもたちの新しい発見も多かった。

探検の後、親切にしてもらった店の人にお礼の手紙を書いた。それを、探検したグループごとに届けた。店の人がその場で封筒を開いて手紙を読み上げ、「この手紙を書いてくれたのは君か、ありがとう」と直接声をかけてもらって感激していた。

イ 今後の取組

秋・冬の町探検では、季節の移り変わりを感じたり、公共施設を見に行ったりする。そして、町探検をふり返って、発表会をする。また、町の施設や商店街のすてきなところをポスターに描いて、それを掲示してもらい宣伝する予定である。

(3) 第3学年の実践「人にやさしい町づくり」

ア「福祉ってなんだろ」・「福祉ボランティアについて学ぼう」の取組

「福祉」を知るためにワークシートを使って考えを書き込み、話し合いを行ったり、総合福祉会館を見学したりした。詩「世界に一つだけの花」や「わたしと小鳥とすずと」を使って心に残ったことを書いたり、どうして違っているのかを話し合ったりした。総合福祉会館の見学では、お年寄りや体の不自由な人のためにいろいろな工夫がされていることを発見した。これらのことから、一人一人に

違いがあり、その違いを認め合うことが大切なのだとことを知った。また、「福祉」ということを知らなかった児童も、「みんなが幸せになることが福祉なんだ」と理解することができた。

福祉実践教室では、「車いす」「手話」「点字」体験を行った。うまくやれるだろうと思って取り組んだ車いす体験では、「自分の手で動かすことも大変だったけれど、段差をうまく押してあげるのも難しかった」という声が聞かれた。手話では、手でやるだけでなく、口形でも意味が伝わるので声に出してやることや目を見てやるのが大切なことを知った。体験を終えた児童は、「練習をして、耳の聞こえない人と話をしてみたい」という感想を書いていた。点字では、指先を使うことに慣れないこともあるが、「読むのは難しい」「全然分からない」というのが、最初の感想であった。しかし、点字を打つことになると、「点だけで意味が分かるの、すごいね」と興味をもって取り組むことができた。



車いす体験

イ 今後の取組

地域の中のバリアフリー化の状態を調べて、「こんな所にこんな工夫がされているんだ」ということを知って、その後「こんな所には、こんな工夫があればいいなあ」ということを考え、発表する。またデイサービスセンターへ行き、お年寄りと交流を図る。相手の立場になって、楽しんでもらえるように自分たちにできることを考えて訪問する。

(4) 第4学年の実践「環境にやさしい町づくり」

ア 「生活を見つめ直そう！ごみ・水調査隊」・「ストップ温暖化！甚小グリーンカーテン」の取組

社会科のごみ調べ、水調べをもとにした学習と、理科でのヘチマの栽培をもとに、学習を深めた。ごみの学習では、地域のごみ処理工場である五条川工場を見学し、ごみの処理だけでなく、さらにごみをリサイクルする方法や、環境を大切にした工場の仕組みについて学んだ。また、水調べでは、下水処理場の方を講師に招き、下水処理場の仕組みについて学んだ。



下水道の学習会

一方、ヘチマの栽培をもとにした学習では、ヘチマを観察していく中で、「グリーンカーテンになるかもしれないよ」という子どもたちの声も聞かれた。そこで、グリーンカーテンでよく使われるゴーヤを用いて、グリーンカーテンづくりを行うこととした。グリーンカーテンをつくることでどんな効果があるのかを詳しく知るために、環境共生住宅に詳しい方を講師に招き、学習会を行った。学習会後にネットを2階から張ってグリーンカーテンづくりを行った。日々の観察の中で虫たちがゴーヤの花に寄ってくることに興味をもつ子どもたちも出てきた。



環境共生住宅の学習会

イ 今後の取組

学校で毎月行っているアルミ缶・ペットボトルキャップ回収や、地域の河川の水質、グリーンカーテンでの温暖化防止への効果をまとめながら、地域とのつながりをエコ活動のちらしづくりや環境家計簿にチャレンジしていくことでつくっていく。

(5) 第5学年の実践「われら産業調査隊」

ア 「甚目寺の伝統産業を知ろう」「甚目寺の産業を知ろう」の取組

甚目寺の伝統産業である刷毛について、刷毛組合の方に出前授業をしていただいた。刷毛産業が外国製品の台頭により厳しい状況にあること、甚目寺の刷毛は日本を代表する漆職人や寿司職人などの名工たちの仕事を支えていることも教えていただいた。



菓子屋を取材

刷毛産業を学んだ後、甚目寺の主な産業について、あま市役所の方に出前授業をしていただいた。そして、地元企業の工場、商店街の商店、JAや甚目寺特産の小松菜を栽培する農家に取材に出かけた。取材活動を通して、児童は、見て、感じて、関わるという貴重な体験をするとともに、働く方の苦労や喜びを肌で感じ取ることができた。

イ 今後の取組

今後は、甚目寺の産業について学んだことをまとめることを通して、人や地域とのつながりに気付かせ、ふるさと甚目寺への愛着心を育むことを考えている。甚目寺観音で定期的に行われている「手づくり朝市」に出店し、甚目寺特産の「方領大根」や「小松菜」の販売を予定している。

(5) 第6学年の実践「われら歴史・文化調査隊」

ア 「見て、聞いて、触れて、甚目寺① ～甚目寺の歴史・文化を知ろう～」の取組

出前授業で甚目寺の史実、遺跡、偉人についての概略を学び、歴史・文化学習への導入を図った。

2回目の出前授業では、古墳時代から飛鳥時代の遺跡について学んだ。

S字甕かめといわれる台つき甕かめが日本最古の炊飯器だったことを知ったり、須恵器に触れたりすることで、甚目寺周辺の遺跡についてより興味をもったりすることができた。



甚目寺説教源氏節を体験

人形芝居サークル「もくもく座」による、伝統芸能「甚目寺説教源氏節」を鑑賞した。公演終了後、人形や三味線を実際に触らせてもらったりした。また、現在源氏節の形をとどめているのは全国で2カ所しかないということ学んだ。

市内に残る伝統工芸「七宝焼」を体験した。甚目寺観音に写生に行き、その絵をもとに、一人10cmの正方形のパーツを集めて一枚の絵に仕上げた。



七宝焼

ふるさとの歴史・文化について学習をより深めるために、「甚目寺観音」・「萱津神社・香の物祭り」・「鎌倉街道沿いのお寺」・「遺跡」・「ハンセン病と小笠原博士」・「甚目寺説教源氏節」の中からテーマを一つ選択し、夏休みに取材を行った。

イ 今後の取組

郷土資料を活用したり、史跡を訪れたりして調べた内容を、見る人に甚目寺のよさが伝わるように工夫して発表する。また、より多くの人に知ってもらうために、学んだことを生かしてパンフレットやポスター作りを行っていく。

地域清掃や甚目寺観音の伝統行事に進んで参加するなど、地域と積極性に関わる活動を行っていく。そして、このような活動の中で、地域の歴史の深さや価値を実感し、「ふるさと甚目寺」を大切に思う気持ちを深めさせたいと考えている。

6 研究の成果と課題

今年度、学校全体でE S Dの研究に取り組めるように体制を整え、教職員のE S Dへの理解がさらに深まり、実践内容が充実してきた。単発の学習や活動ではなく、学んだことを踏まえて、地域を見つめ直すことで、自分の考えや意見をもち、進んで地域や地域の人と「かかわり」、思いや考えを「つたえよう」とし、自分のふるさととしてこの地域を「つなげていこう」とする児童が多くなった。

(1) 「ふるさと 甚目寺」をテーマに、「かかわる、つたえる、つなげる」をキーワードとした取組の成果

「かかわる、つたえる、つなげる」という本校のE S Dの取組に関するキーワードについて、次のように考えている。「かかわる」とは、児童や学校が一方的に地域や地域の人と関わったり、関わってもらっている状態であり、「つたえる」とは、関わりから児童が学んだこと、学校が知らせたいことを地域や地域の人に伝えたり、情報発信したりすることである。そして、「つなげる」とは「かかわる」や「つたえる」ことにより、一方的でない双方向的な関係ができることである。P.31 資料「平成 23・24 年度E S Dの取組による人や地域との関係の広がり」は、本校の2年間の取組で、地域や地域の人との関係がどこまで広がったかを示すもので、E S Dに取り組む以前より確実に地域や地域の人とのつながりが広がってきた。

(2) 新年間指導計画づくり、重視する能力・態度を観点とした評価規準の作成とその成果

平成 23 年度は、指導計画として年間指導計画とE S D関連指導計画の2つを作成していた。今年度はこれらを1本化し、さらに重視する能力・態度の観点と評価規準を含めた新しい年間指導計画をつくった。E S Dカレンダーを補完するものとして、これからも十分活用できるものになった。また、重視する能力・態度の中で、特に育みたい力を学校全体や児童の発達段階に合わせ、低学年、高学年で設定し、評価規準を作成したことは、指導のポイントがより明確になった。

(3) E S Dの学校評価のためのアンケートの結果より

今回の調査で、事前アンケートを実施した結果、ふるさと甚目寺をすばらしい町、よい町だと思い、大切にしていきたいと思っている子どもが多い一方、何か考えたり、行動したりしたいと思う子どもが比較的少ないという、本校の子どもの実態が分かった。重視する能力・態度で学校全体として特に育みたい力を「⑦進んで参加する態度」とした理由は、ここにある。今後も毎年度、事前事後のアンケートを続け、アンケート結果も踏まえた次年度のE S Dへの取組の改善につなげていきたい。

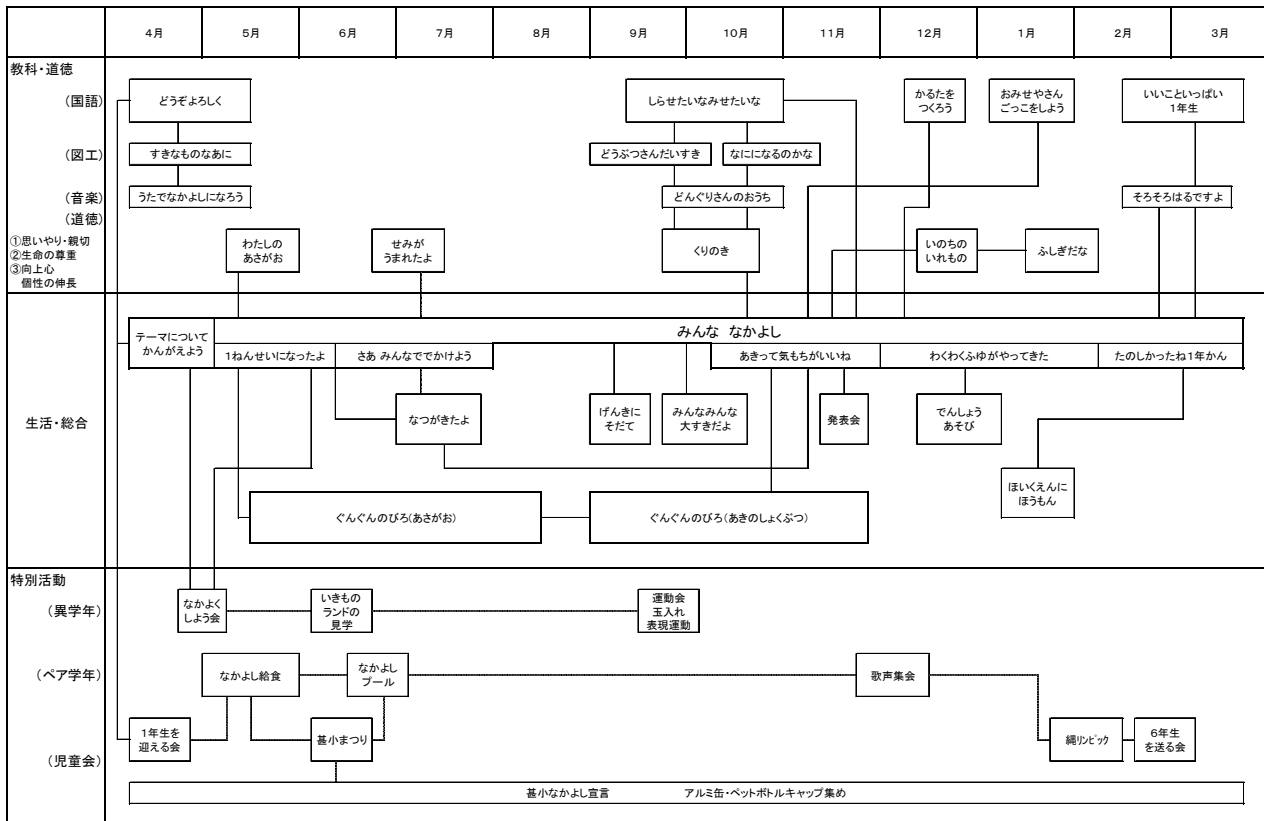
(4) 課題とおわりに

E S Dの取組はまだ発展の途上であり、これからも地域の中にE S Dに取り組む教材を見つける努力が必要である。学年によっては、学習・活動内容から地域や地域の人とつながる教材を見つけることが難しい場合がある（内容的に1，3，4年生）。子どもの考えや意見、地域の人々の願いを聞きながら、学習活動の展開例を作っていきたい。今後、年間を通した取組が、アンケート結果にどのように出てくるか、変容の様子を分析し、E S Dカレンダー・年間指導計画・授業づくりの改善に生かしていく必要がある。また、小学校6年間を通して、本校が重視している「進んで参加する児童」をどのように育てていくか、学校全体で取り組み、年度ごとでゼロからスタートするのではなく、培った力を積み上げていけるようにすることが大事であると考えます。

本校は、E S Dの推進拠点である「ユネスコスクール」に10月初旬に申請した。加盟までは、もう少しばかり時間がかかるが、E S Dの取組がユネスコスクールの加盟によってさらに充実したものになっていくようにしたい。

※参考文献

1) 「持続発展教育」文部科学省ユネスコ国内委員会 <http://www.mext.go.jp/unesco/004/004.htm>



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「みんな、なかよし！」(74時間)											
【ねらい】	○学校や地域を探究する活動を通して、自分と身近な人々、社会、自然とのつながりに気づき、愛着をもつ。 ○栽培活動を通して、身近な植物に興味・関心をもち、植物を通して地域との関わりをもつ。										
【構成概念】	Ⅰ 多様性 Ⅱ 相互性 Ⅳ 公平性 V 連携性										
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力				⑤他者と協力する態度				⑦進んで参加する態度		
【評価規準】	・学校や校区の探究では、出会った先生や地域の人に進んで挨拶をすることができる。				・友達と仲良く探究することができる。 ・思いやりの気持ちをもって、友達と協力しながら、栽培活動に取り組むことができる。				・季節の花の栽培活動を通して、進んで地域や地域の人たちと関わろうとすることができる。		
単元名「いちねんせいになったよ」(15時間)			単元名「さあ！ みんなででかけよう」(8時間)			単元名「あきって気持ちがいいね」(16時間)			単元名「たのしかったね1年かん」(13時間)		
【ねらい】 ・学校という新しい環境のなかで、身近な人やものに積極的にいかわり、安全で楽しく過ごすことができる。 【学習活動】 ①がっこうのいちにちをしりたいな(2時間) ・1年生になった喜びや期待を話し合う。 ②もんだちをいっしょにつくらう！(2時間) ・自己紹介したり、ゲームをしたりする。 ③がっこうにはなにがあるのかな(2時間) ・2年生と学校探究をする。 ④がっこうたんけんしゅっぱつだ(3時間) ・自分たちだけで学校探究をする。 ⑤どんなはっぱんがあつたかな(1時間) ・見つけたことを話し合う。 ⑥わたしのはっぱんをしょうかいします(3時間) 【地域人材・関係機関】			【ねらい】 ・安全に気をつけて、地域へ出かけて行き、みんなで探究しながら、人や自然と触れ合うことができる。また、春の季節を感じるができる。 【学習活動】 ①がっこうのまわりをたんけんしよう(6時間) ・探究の計画を立てる。 ・学校の西コースを探究する。 ・学校の東コースを探究する。 ②たのしかったことをつたえよう(2時間) 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②基目寺駅 ③基目寺観音 ④聖徳保育園			【ねらい】 ・遊び場や野原などで散歩したり遊んだりするなかで、季節が秋に変化してきたことに気付くとともに、葉や実などの自然物を使ってみんなで楽しく遊ぶことができる。 【学習活動】 ①どんなあきが見つかるかな(2時間) ・秋探しの計画を立てる。 ②みんなであそぼう(6時間) ・秋を探したり、遊んだりする。 ③あきをたのしもう(2時間) ・自然物を利用した遊び道具などを使って秋を楽しむ。 ④見つけたあきをつたえあおう(2時間) ・五感を通して見つけた季節の変化を発表し合う。 ⑤こんなあき見つけたよ つくったよ(4時間) ・今までの作品を使って、基小タイム発表会を楽しむ。 【地域人材・関係機関】 ①東山動物園 ②基目寺観音			【ねらい】 ・この1年間に様々な思い出ができたことや、自分や友だちがともに成長したことに気付く、進級する喜びや希望をもつことができる。 【学習活動】 ①おもいでしてみよう(3時間) ・1年間をふり振り返り、紙芝居を作る。 ②いっしょにできるようになったね(2時間) ・自分たちが成長したことを確かめる。 ③あたらしい1年生がやってくるよ(6時間) ・新1年生を迎える準備をする。 ・紙芝居をもって、保育園を訪問する。 ④さあもうすぐ2年生だ！(2時間) ・春をさがそう 【地域人材・関係機関】 ①聖徳保育園		
単元名「わくわくふゆがやってきた」(10時間)											
【ねらい】 ・冬の外遊びに目を向け、元気に遊び、季節の変化を感じ取ることができるとともに、昔からの遊びを地域の人から教わり、交流したりできる。 【学習活動】 ①きたかせとともだち(4時間) ・校庭でみんなと一緒に元気に遊ぶ。 ②むかしからのあそびにようせい(5時間) ・昔からの遊びを知る。 ・地域の人と楽しく遊ぶ。 ③いっしょにあそぼうよ(1時間) ・外園の遊びを楽しむ。 【地域人材・関係機関】 ①あま市社会福祉協議会 ②ALT											
単元名「ぐんぐんのびろ！(花栽培)」(12時間)											
【ねらい】 ・身近な植物に興味・関心をもち、それらに生命があることに気付くとともに、植物を大切にすることができるようになる。											
【学習活動】 ①ぐんぐんのびろ(4時間) ・種を観察する。 ・アサガオの種まきをする。 ・成長の様子を観察する。 ・地域に育てた花を贈る。 【地域人材・関係機関】 ①基目寺駅 ②基目寺会館 ③基目寺観音						【学習活動】 ①ぐんぐんのびろ(8時間) ・アサガオの種を収穫して、利用の仕方を考える。 ・チューリップの球根を観察し、植える。 ・ハンジの苗を植える。 ・地域に育てた花を贈る。 ・自分との関わりを振り返る。 【地域人材・関係機関】 ①基目寺駅 ②基目寺会館 ③基目寺観音					

平成24年度ESDカレンダー

第2学年

あま市立基目寺小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・道徳 (国語) (音楽)(図工) (道徳) ①思いやり・親切 ②生命の尊重 ③向上心 個性の伸長	今週の ニュース	かんさつ名人 になろう	スイミー	うれしい ことば			お手紙	友だちのこ と知りたくな	わたしは おねえさん	みんなで 決めよう	スーホの 白い馬	たのしかったよ 二年生
	メッセージ							リースをつくらう				
		ぼくは 二年生	あじさい の町	森の ともだち		ぼくのたん じょう日	おばあさん ができたよ	たいふう のよる			白いつ	小人と 青虫
生活・総合	テーマにつ いてかんが えよう	この町大好き！ぼくたち町のたんけんたい										みんな大き くなったよね
		レッツゴー！町たんけん	もっとしりたいな！町のこと						こんなすてきな町なんだ！			
	ともだちいっばい なかよくしようね							発表会				
			ぐんぐんのびろ 野菜①	げんきにそだて	ぐんぐんのびろ 野菜②				ぐんぐんのびろ 野菜③			
特別活動 (学級) (異学年) (ペア学年) (児童会)	あいさつ名人 になろう	あいさつ名人に なろう(バージョン アップ)	どうぞ！ ありがとう！	上手な ごめんなさい	めざせ！ マナー名人！	まきもどして、 ドンマイ				ナイスフォロー		
	なかよく しよう会 (1年)	生き物ランド (1年)		運動会 玉入れ、表現運動 (1年)	生活科発表会 (1年)							
		なかよく給食	コリントゲーム で遊ぼう	ドッジボールを しよう	歌声集会							
	1年生を 迎える会	基小まつり									綱引ピクニック	6年生 を送る会
	基小なかよし宣言 アルミ缶・ペットボトルキャップ集め											

生活科

第2学年指導計画

あま市立基目寺小学校

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
「この町大好き！ぼくたち町のたんけんたい」(38時間)																															
【ねらい】	○地元の商店街のお店や町の中を探索し、町の自然、人々、社会、公共物などに関心をもつ。 ○町の人と触れ合うことによって、人と人とのつながりや地域とのつながりに気づき、地域への親しみや愛着をもつ。																														
【構成概念】	Ⅰ 多様性 Ⅱ 相互性 Ⅲ 連携性																														
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力			⑤他者と協力する態度			⑥つながりを尊重する態度			⑦進んで参加する態度																					
【評価規準】	・探検先のの人に、質問したいことをはっきり伝え、聞き取ったことを簡潔にまとめることができる。			・探検では、グループで協力し、相手の立場を考えて行動することができる。 ・町探検で気づいた町のよさや人々とかかわることの楽しさを、グループで助け合って発表することができる。			・季節を通しての町の変化が分かり、自分たちの生活との関わりや自分たちの町のよさに気付く。			・グループ学習では、進んで自分の意見を出し、最後まで責任をもって取り組むことができる。 ・自分たちの町のよさに気づき、町の暮らしなどに進んで参加しようとする。																					
<table><tr><td>単元名「レッツゴー！町たんけん」(16時間) 【ねらい】 ・自分たちの住む町を探索し、町の自然、地域で生活したり働いたりしている人々、商店街などに関心をもち、愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①さあ！作戦会議(3時間) ・町の中で行きたいところを話し合う。 ②町をたんけんしよう(8時間) ・校区を歩いて春を見つけながら、探検したい場所をさがす。 ・探検したい場所を発表する。 ・探検場所の商店街のお店を話し合いで決める。 ・商店街のお店を探索する。 ③町たんけんのまとめしよう(5時間) ・商店街のお店についてまとめる。 ・お礼の手紙をどける。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②駅 ③新聞屋 ④保護者</td><td colspan="3">単元名「もっとしりたいな！町のこと」(10時間) 【ねらい】 ・秋の町の自然や人々、社会・公共施設に関心をもち、調べたり、体験したり、関わったりする活動を通して、町のよさやここに住む人々の温かさに気づき、新たな親しみや愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①町の中でもっと知りたい場所を話し合おう(2時間) ②町の公共施設を知らう(2時間) ・給食センターを見学する。 ・中央公民館、福祉センター、総合体育館へ行く。 ③秋を見つけに行こう(2時間) ・ブロードを歩きながら、秋を見つける。 ・町の人に聞いてみる。 ④まとめをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②公共施設 ③ブロード</td><td colspan="3">単元名「こんなすてきな町なんだ！」(12時間) 【ねらい】 ・町の施設や商店街のすてきなところを発表したり、PR活動をしたりすることを通して、自分たちの町のよさに改めて気づき、町への愛着を広げたり深めたりすることができる。 【学習活動】 ①「レッツゴー！町たんけん」と「もっとしりたいな！町のこと」の活動をふり返ってみよう(2時間) ②商店街のお店のPRポスターをつくろう(3時間) ③発表会をしよう(7時間) ・発表のしかたを考え、準備する。 ・発表の練習をする。 ・発表会を開く。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②保護者</td><td colspan="3">単元名「みんな大きくなったよね」(14時間) 【ねらい】 ・これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これから自信をもって意欲的に生活できるようにする。 【学習活動】 ①できるようになったことを教えよう(2時間) ②自分たんけんしゅっぱつしよう(4時間) ・小さい頃のことを知る方法を話し合う。 ・小さい頃のことを調べる。 ③自分ものにインタビュー、写真、思い出の品 ・自分の記録をワークシートにまとめ、本にする。 ・できた本を、みんなで読み合う。 ④おれいの気持ちをつたえよう(3時間) ・お世話になった人々への感謝の会を計画する。 ・お礼の会をする。 ⑤あしたにむかってすんでいこう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①保護者</td></tr></table>												単元名「レッツゴー！町たんけん」(16時間) 【ねらい】 ・自分たちの住む町を探索し、町の自然、地域で生活したり働いたりしている人々、商店街などに関心をもち、愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①さあ！作戦会議(3時間) ・町の中で行きたいところを話し合う。 ②町をたんけんしよう(8時間) ・校区を歩いて春を見つけながら、探検したい場所をさがす。 ・探検したい場所を発表する。 ・探検場所の商店街のお店を話し合いで決める。 ・商店街のお店を探索する。 ③町たんけんのまとめしよう(5時間) ・商店街のお店についてまとめる。 ・お礼の手紙をどける。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②駅 ③新聞屋 ④保護者	単元名「もっとしりたいな！町のこと」(10時間) 【ねらい】 ・秋の町の自然や人々、社会・公共施設に関心をもち、調べたり、体験したり、関わったりする活動を通して、町のよさやここに住む人々の温かさに気づき、新たな親しみや愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①町の中でもっと知りたい場所を話し合おう(2時間) ②町の公共施設を知らう(2時間) ・給食センターを見学する。 ・中央公民館、福祉センター、総合体育館へ行く。 ③秋を見つけに行こう(2時間) ・ブロードを歩きながら、秋を見つける。 ・町の人に聞いてみる。 ④まとめをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②公共施設 ③ブロード			単元名「こんなすてきな町なんだ！」(12時間) 【ねらい】 ・町の施設や商店街のすてきなところを発表したり、PR活動をしたりすることを通して、自分たちの町のよさに改めて気づき、町への愛着を広げたり深めたりすることができる。 【学習活動】 ①「レッツゴー！町たんけん」と「もっとしりたいな！町のこと」の活動をふり返ってみよう(2時間) ②商店街のお店のPRポスターをつくろう(3時間) ③発表会をしよう(7時間) ・発表のしかたを考え、準備する。 ・発表の練習をする。 ・発表会を開く。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②保護者			単元名「みんな大きくなったよね」(14時間) 【ねらい】 ・これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これから自信をもって意欲的に生活できるようにする。 【学習活動】 ①できるようになったことを教えよう(2時間) ②自分たんけんしゅっぱつしよう(4時間) ・小さい頃のことを知る方法を話し合う。 ・小さい頃のことを調べる。 ③自分ものにインタビュー、写真、思い出の品 ・自分の記録をワークシートにまとめ、本にする。 ・できた本を、みんなで読み合う。 ④おれいの気持ちをつたえよう(3時間) ・お世話になった人々への感謝の会を計画する。 ・お礼の会をする。 ⑤あしたにむかってすんでいこう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①保護者												
単元名「レッツゴー！町たんけん」(16時間) 【ねらい】 ・自分たちの住む町を探索し、町の自然、地域で生活したり働いたりしている人々、商店街などに関心をもち、愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①さあ！作戦会議(3時間) ・町の中で行きたいところを話し合う。 ②町をたんけんしよう(8時間) ・校区を歩いて春を見つけながら、探検したい場所をさがす。 ・探検したい場所を発表する。 ・探検場所の商店街のお店を話し合いで決める。 ・商店街のお店を探索する。 ③町たんけんのまとめしよう(5時間) ・商店街のお店についてまとめる。 ・お礼の手紙をどける。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②駅 ③新聞屋 ④保護者	単元名「もっとしりたいな！町のこと」(10時間) 【ねらい】 ・秋の町の自然や人々、社会・公共施設に関心をもち、調べたり、体験したり、関わったりする活動を通して、町のよさやここに住む人々の温かさに気づき、新たな親しみや愛着をもつことができる。 【学習活動】 ①町の中でもっと知りたい場所を話し合おう(2時間) ②町の公共施設を知らう(2時間) ・給食センターを見学する。 ・中央公民館、福祉センター、総合体育館へ行く。 ③秋を見つけに行こう(2時間) ・ブロードを歩きながら、秋を見つける。 ・町の人に聞いてみる。 ④まとめをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②公共施設 ③ブロード			単元名「こんなすてきな町なんだ！」(12時間) 【ねらい】 ・町の施設や商店街のすてきなところを発表したり、PR活動をしたりすることを通して、自分たちの町のよさに改めて気づき、町への愛着を広げたり深めたりすることができる。 【学習活動】 ①「レッツゴー！町たんけん」と「もっとしりたいな！町のこと」の活動をふり返ってみよう(2時間) ②商店街のお店のPRポスターをつくろう(3時間) ③発表会をしよう(7時間) ・発表のしかたを考え、準備する。 ・発表の練習をする。 ・発表会を開く。 【地域人材・関係機関】 ①商店街 ②保護者			単元名「みんな大きくなったよね」(14時間) 【ねらい】 ・これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これから自信をもって意欲的に生活できるようにする。 【学習活動】 ①できるようになったことを教えよう(2時間) ②自分たんけんしゅっぱつしよう(4時間) ・小さい頃のことを知る方法を話し合う。 ・小さい頃のことを調べる。 ③自分ものにインタビュー、写真、思い出の品 ・自分の記録をワークシートにまとめ、本にする。 ・できた本を、みんなで読み合う。 ④おれいの気持ちをつたえよう(3時間) ・お世話になった人々への感謝の会を計画する。 ・お礼の会をする。 ⑤あしたにむかってすんでいこう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①保護者																								
<table><tr><td colspan="12">単元名「ぐんぐんのびろ！」「げんきにそだて」(28時間) 【ねらい】 ○身近な植物や生き物を栽培したり飼ったりしながら、その成長の様子に関心と親しみをもつ。 ○植物や生き物も自分たちと同じように生命をもっていることに気づき、大切にしようとする。 【学習活動】 ①生きものたんけんしゅっぱつ！(3時間) ②もっと知りたいな、調べてみよう(3時間) ③いのちを見つけたよ(1時間) ・獣医さんと一緒にウサギとふれ合う。 ④教えてあげたいわ(4時間) ・生きものランドに、1年生を招待しよう 【地域人材・関係機関】 ①愛知獣医師会</td><td colspan="4">【学習活動】 ①どんな夏野菜を育てよう？(2時間) ②名人に教えてもらおう(1時間) ③いろいろな夏野菜を育てよう(2時間) ④大きくなったお(3時間) ⑤さつまいもパーティーをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者</td><td colspan="4">【学習活動】 ①冬でも育つ野菜があるんだ(2時間) ・農の伝導者に聞く。 ②いろいろな冬野菜を育てよう(2時間) ③基目寺の特産野菜について知ろう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者</td></tr></table>												単元名「ぐんぐんのびろ！」「げんきにそだて」(28時間) 【ねらい】 ○身近な植物や生き物を栽培したり飼ったりしながら、その成長の様子に関心と親しみをもつ。 ○植物や生き物も自分たちと同じように生命をもっていることに気づき、大切にしようとする。 【学習活動】 ①生きものたんけんしゅっぱつ！(3時間) ②もっと知りたいな、調べてみよう(3時間) ③いのちを見つけたよ(1時間) ・獣医さんと一緒にウサギとふれ合う。 ④教えてあげたいわ(4時間) ・生きものランドに、1年生を招待しよう 【地域人材・関係機関】 ①愛知獣医師会												【学習活動】 ①どんな夏野菜を育てよう？(2時間) ②名人に教えてもらおう(1時間) ③いろいろな夏野菜を育てよう(2時間) ④大きくなったお(3時間) ⑤さつまいもパーティーをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者				【学習活動】 ①冬でも育つ野菜があるんだ(2時間) ・農の伝導者に聞く。 ②いろいろな冬野菜を育てよう(2時間) ③基目寺の特産野菜について知ろう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者			
単元名「ぐんぐんのびろ！」「げんきにそだて」(28時間) 【ねらい】 ○身近な植物や生き物を栽培したり飼ったりしながら、その成長の様子に関心と親しみをもつ。 ○植物や生き物も自分たちと同じように生命をもっていることに気づき、大切にしようとする。 【学習活動】 ①生きものたんけんしゅっぱつ！(3時間) ②もっと知りたいな、調べてみよう(3時間) ③いのちを見つけたよ(1時間) ・獣医さんと一緒にウサギとふれ合う。 ④教えてあげたいわ(4時間) ・生きものランドに、1年生を招待しよう 【地域人材・関係機関】 ①愛知獣医師会												【学習活動】 ①どんな夏野菜を育てよう？(2時間) ②名人に教えてもらおう(1時間) ③いろいろな夏野菜を育てよう(2時間) ④大きくなったお(3時間) ⑤さつまいもパーティーをしよう(4時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者				【学習活動】 ①冬でも育つ野菜があるんだ(2時間) ・農の伝導者に聞く。 ②いろいろな冬野菜を育てよう(2時間) ③基目寺の特産野菜について知ろう(1時間) 【地域人材・関係機関】 ①豊かな食と農の伝導者															

平成24年度ESDカレンダー				第 3 学 年				あま市立基目寺小学校				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・道徳	(国語) (社会) (体育) (道徳) ①思いやり・親切 ②生命の尊重 ③向上心 個性の伸長 よい聞き手になろう わたしたちのまちのようす わたしたちの市のようす 手紙を書こう わたしたしと小島とすずと わたしたちの学校行事・インタビュー 民ようをおどろう おばあさん たすけ合い 本で調べて報告しよう 昔の道具と人びとのくらしと道具 人びとのくらしと道具											
生活・総合	テーマについて考えよう 福祉ってなんだろう 福祉ボランティア 福祉実践教室ー 人にやさしい町づくり お年寄りから学ぼう① 自分たちができることをしよう 発表会 お年寄りから学ぼう②											
特別活動	(異学年) (ペア学年) (児童会) 運動会 表現運動 読み聞かせ① 読み聞かせ② 歌声集 読み聞かせ③ 1年生を送る会 基小まつり 縄リニック 6年生を送る会 基小なかよし宣言 アルミ缶・ペットボトルキャップ集め											

総合的な学習の時間				第 3 学 年 指 導 計 画				あま市立基目寺小学校																	
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
「人にやさしい町づくり」(38時間)																									
【ねらい】		○自分が生活する町の福祉に目を向け、福祉のよさに気付き関わろうとする。 ○様々な体験活動や実践を通して立場の異なるものへの接し方や大切に気付け。 ○見学や体験を通して、自分ができることを進んで考えて、実践する。																							
【構成概念】		Ⅱ 相互性 Ⅳ 公平性 Ⅴ 連携性 Ⅵ 責任制																							
【重視する能力・態度】		④コミュニケーションを行う力						⑤他者と協力する態度						⑥つながりを尊重する態度						⑦進んで参加する態度					
【評価規準】		・施設見学や福祉実践教室で、自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりすることができる。						・相手の立場になって考えて行動し、友達と協力し合って実践しようとする。						・福祉と自分とのつながり・関わりに関心をもち、ずんて学び、交流しようとする。						・見学や体験を通して、人にやさしい町作りのために、自分ができることは何かを考え、実践しようとする。					
単元名「福祉ってなんだろう」(20時間)												単元名「福祉ボランティアについて学ぼう～福祉実践教室」(6時間)													
【ねらい】 自分が生活する身近な地域の人々との関わりに関心を向け、主な公共施設などの場所と働きなどを観察・調査し、地域のよさに気付き、愛着をもつ。 【学習活動】 ①施設の見学に出かけたとき、出会った人に挨拶をしたり、話しかけたりする。 ②見学から、施設設備や工夫について、気付いたことを話し合う。 ③ワークシートを使って、福祉について話し合う。 ④パンフレットを使って、総合福祉会館、公民館の見学で調べたことを、みんなに知らせたいことを中心にガイドマップにまとめる。 ⑤施設見学をまとめたガイドマップを使って、学年・クラスで発表する。 ⑥お年寄りから、語り「基目寺カッポレ」を教えてもらい、運動会でいっしょに踊る。 ⑦教えてもらった、施設の人やお年寄りにお礼の手紙を書く。 【地域人材・関係機関】 総合福祉会館、総合体育館、公民館(職員の方々)												【ねらい】 車椅子、手話、点字などの体験を通して、福祉に対する興味、関心をもつ。 【学習活動】 ①車椅子、手話、点字など福祉に携わる人々の役割やはたらきについて知る。 ②テーマについて、福祉実践教室で体験学習する。 ③それぞれの体験や体が不自由な人についての質問を考える。 ④福祉実践教室で学んだことを、ノートなどにまとめ、今後の学習の資料にする。 ⑤異なる体験学習をした友達と情報交換をする。 ⑥体験学習で学んだことを友達同士で練習する。 ⑦福祉実践教室の講師にお礼の手紙を書く。 【地域人材・関係機関】 福祉実践教室講師													
単元名「自分たちができることをしよう」(24時間)												単元名「お年寄りから学ぼう」(8時間)													
【ねらい】 福祉に関連した公共施設、福祉に携わる人々の役割やはたらきを知ったり、車椅子、手話、点字などの体験をしたりして学んだことを生かして、自分たちができることを実践しようとする。 【学習活動】 ①体験したり、学んだことから自分の学習テーマを見つける。 ②福祉実践教室で学んだことをもとに本やインターネットなどの資料を用いて調べ学習を進める。 ③自分たちの身の周りのバリアフリーについて調べる。 ④調べたことを、模造紙や原稿用紙にまとめる。 ⑤調べたことをポスターセッションや劇化したもの、ペープサートなどに仕上げ、基小タイム発表会で発表する。 ⑥体験や調べたことをもとに、デイサービスセンターを訪ね、お年寄りや体が不自由な方々と交流をもつ。 【地域人材・関係機関】 デイサービスセンター												【ねらい】 昔の道具や、それらを使っていたころのくらしの様子を調べ、体験活動を通して過去の生活における人々の知恵や工夫、知育の人々の生活の変化に関心をもち、昔使った道具や遊びや学校生活について、お年寄りにインタビューをする。 【学習活動】 ①ゲストティーチャーを招いて、昔の生活について話を聞く。 ②インタビューやゲストティーチャーから聞いたことをもとに、昔使った道具・遊び・学校生活について、インターネットや図書館で詳しく調べる。 ③グループで調べたことをつかたことをくらしの変化が分かるように、新聞や模造紙にまとめ、クラス、学年・保護者への発表の準備をする。 ④グループごとに、昔使った道具・遊び・学校生活について調べたことを発表する。 ⑤学習を通して、ものを大切にしたり、家族のつながりを大切にしてきたことを感じ、今のくらしを見つめなおす。 【地域人材・関係機関】 ゲストティーチャー													

平成24年度ESDカレンダー 第4学年 あま市立基目寺小学校												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・道徳	(国語) 調べたことを報告する文章を書こう 調べて発表しよう 説明の仕方について考えよう 調べてまとめて読み合おう (社会) 健康なくらしをささえる ごみのしよりと活用 くらしと水 安全なくらしをささえる 伝統工芸 七宝焼 (理科) あたたかくなると 暑くなると すずしくなると 寒くなると (体育) 民ようをおどろう (道徳・人権) ①思いやり・親切 ②生命の尊重 ③向上心 個性の伸長 落ちていたきつぷ 力持ちの新助さん エンカウンター ヒキガエルとロバ 心の花たば カンボジアの子どもたちへ もしもあのとき											
生活・総合	テーマについて考え、活動を決めよう 生活を見つめ直そう！ゴミ・水調査隊 ストップ温暖化！基小グリーンカーテン 環境にやさしい町づくり 環境にやさしい町！基目寺エコチャレンジ！ 自然体験プログラム 発表会 1/2成人式 自分のふり回り 自分の夢 感謝の気持ち											
特別活動	(異学年) 運動会 表現運動 (ペア学年) なかよしレーボール大会 仲良し給食 コリントゲーム大会 トッソー大会 歌声集会 (児童会) 1年生を迎える会 基小まつり 6年生を送る会 基小なかよし宣言 アルミ缶・ペットボトルキャップ集め											

総合的な学習の時間													第4学年指導計画			あま市立基目寺小学校		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
「環境にやさしい町づくり」(50時間)																		
【ねらい】	○自分の身近な環境や、町の環境に関心をもち、関わろうとする。 ○自然や環境、人がつながっていることを知り、環境に対して自分なりの課題を見付け活動する。 ○他者の気持ちや考えを尊重することの大切さに気づき、自分の考えを伝える。 ○地域の人々との関わりを考え、自分の生活を工夫していく。																	
【構成概念】	Ⅱ 相互性 Ⅲ 有限性 Ⅴ 連携性 Ⅵ 責任性																	
【重視する能力・態度】	③多面的、総合的に考える力				④コミュニケーションを行う力				⑥つながりを尊重する態度				⑦進んで参加する態度					
【評価規準】	・自然や環境、人がつながり、関わり合っていることを理解し、課題に対して様々な視点からとらえ、関連付けて考えることができる。				・他の児童と協力して活動し、相手の気持ちや考えを尊重しながら、自分の考えを簡潔に伝えることができる。				・自然や環境、人とのつながり・関わりに関心をもち、それらに大切にすることができる。				・環境に関する活動に進んで参加し、よりよい環境にしていけるための方法を考え、実践しようとする。					
単元名「生活を見つめ直そう！ゴミ・水調査隊」 (15時間)																		
【ねらい】	・ゴミ問題について考え、ごみを減量するために自分たちができることを考え実践する。水問題について考え、水を大切にしていけるために自分たちができることを考え実践する。下水道出前講座に参加し、下水道の仕組みや役割に対する理解を深め、日常生活をとりまく水環境をより身近に感じ、水の大切さ、汚れを減らす工夫について学ぶ。																	
【学習活動】	①ゴミ調べをしよう(3時間) ・家庭から出るごみの量や種類を調べよう。 ②ゴミ新聞をまとめよう(4時間) ・五条川工場の見学で分かったことをまとめよう。 ③水調べをしよう(3時間) ・家や学校での水の使われ方について調べよう。 ④下水道について調べよう(5時間) ・下水道出前授業に参加して、下水道の仕組みを知ろう。分かったことをまとめよう。 【地域人材・関係機関】 ①五条川工場 ②大治浄水場 ③愛知県建設部下水道課																	
単元名「ストップ温暖化！基小グリーンカーテン」 (15時間)																		
【ねらい】	・グリーンカーテンの出前授業に参加し、グリーンカーテンに対する理解を深め、進んで取り組んでみようとする気持ちを高める。																	
【学習活動】	①グリーンカーテンって何？(3時間) ・グリーンカーテンについて調べよう。 ②グリーンカーテンの準備をしよう。(4時間) ・苗の植え方 ・苗の種類 ・必要なものや育て方 ③苗を植えよう。(2時間) ・ゴーヤ、ヘチマ、夏ツタ ④専門家の方に話を聞こう(2時間) ・育て方、グリーンカーテンの意義 ⑤世話をしよう(1時間) ⑥グリーンカーテンの効果について(3時間) ・気温の測定 ・地域への呼びかけ ・話し合い活動 【地域人材・関係機関】 ①農協 ②グリーンカーテン専門家																	
単元名「環境にやさしい町・基目寺エコチャレンジ！」(20時間)																		
【ねらい】	・身の回りの環境に関心をもち、それぞれが課題をもつ。自分たちの住む基目寺地区の自然環境、社会環境を知り、環境をよりよいものにしていく気持ちを高める。																	
【学習活動】	①テーマを決めよう(2時間) ・これまでの学習を振り返って、追究する内容を決め、計画を立てよう。 ②調べよう、実践しよう(5時間) ・自分のテーマに合わせて、さらに調べたり、実践したりする。 ③発表会の準備をしよう(5時間) ・調べたことをどのように発表するとよいと考え、発表の準備を行う。 ④発表会をし、意見を交流させよう(3時間) ・お互いの研究を見比べ、意見や考えを交流させよう。 ⑤地域の方々々に伝えよう。(5時間) ・地域の方々々に伝える準備をし、研究の成果を発表する。 【地域人材・関係機関】 河川環境美園、保護者、異学年、これまでにお世話になった講師野方や関係機関																	
単元名「1/2成人式をしよう」(10時間)																		
【ねらい】	・今までの自分の成長の様子を調べたり、将来の夢を考えたりする活動を通して、保護者への気持ちや前向きに生きていく意欲を高めていく。																	
【学習活動】	①自分の小さい頃の様子を調べよう。(2時間) ・保護者、保育園・幼稚園の先生にインタビューをして、自分の成長の様子を調べる。 ②ドリームマップをつくる。(4時間) ・調べたことをもとに、自分史を作ったり、1/2成人式に向けて発表の準備を行ったりする。 ③1/2成人式 ・保護者を招待して、自分の夢や感謝の気持ちを伝える。 【地域人材・関係機関】 ドリームマップ講師、保護者																	

ESDカレンダー				第5学年										あま市立基目寺小学校		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
教科・道徳		(国語)		活動報告をする文章を書く			自分の考えをまとめて討論しよう		大進じいさんとがん		千年の釘にいでむ		自分の考えを明確にしながら読もう		わらぐつの中の神様	
		(社会)		米作りのさかなな地域			水産業のさかなな地域		自動車工業のさかなな地域		自然を守る運動					
		(理科)		植物の発芽と成長		魚のたんじょう		人のたんじょう								
		(家庭)		見つめよう家庭生活			組立体操		ティーボール		おいしい毎日の食事		物を生かして住みやすく			
		(体育)		体ほぐし運動		マット運動		ソフトバレーボール		バスケットボール・サッカー						
(道徳) ①思いやり・親切 ②生命の尊重 ③向上心 個性の伸長		犬とわたしの十の約束		勇太の宿題			クラスの宝物		女性指揮者たん生		アルバムの中のほく		おばあさん、待っててね。			
生活・総合		野外活動の研究		ふるさと基目寺												
		旭高原調査隊		くらしに目を向けよう		われら産業調査隊				基目寺から発信						
						テーマ決め		調べ学習・まとめ		発表会		近隣地域→愛知県→日本各地		伝統産業を守る町		
						社会見学		出前授業		地元へ根付く昔からの産業 → 日本各地の伝統産業						
特別活動		(異学年)		運動会 騎馬戦 組立体操										卒業式		
		(ペア学年)		読み聞かせ①「ともだち」		歌声集会		読み聞かせ②「思いやり」				歌声集会		読み聞かせ④「思いを伝える」		
		(児童会)		1年生を送る会		基小まつり		読み聞かせ③「思いやり②」				縄リピック		6年生を送る会		
				基小なかよし宣言										アルミ缶・ペットボトルキャップ集め		

総合的な学習の時間 第5学年指導計画 あま市立基目寺小学校

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「われら産業調査隊」(60時間)											
【ねらい】	○商店・工場・農家などに出かけ、それぞれの仕事を調べることを通して地域の産業を知り、それをまとめて発信するとともに、働くという人間の営みに対する理解を深め、自分も社会の一員として生きようとする気持ちを育てる。										
【構成概念】	I 多様性 II 相互性 IV 公平性 V 連携性 VI 責任性										
【重視する能力・態度】	①批判的に考える力			③多面的、総合的に考える力			⑤つながりを尊重する態度			⑦進んで参加する態度	
【評価規準】	・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、自分に必要な情報を検討・整理し、考えを深めながら地域の産業について考えることができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、それらを自分・地域・社会など様々な視点からとらえ、関連付けて考えることができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、地域の産業のおかげで、自分の生活があることを実感することができる。			・自分たちが住んでいる地域の産業を調べることを通して、地域の産業のために、自分たちが貢献できることを進んで考えようとしている。	
単元名「われら産業調査隊」 ～基目寺の伝統産業を調べよう～ (7時間)			単元名「われら産業調査隊」 ～基目寺の主な産業を知ろう～ (7時間)			単元名「われら産業調査隊」 ～基目寺の産業を知ろう～ (30時間)			単元名単元名「われら産業調査隊」 ～基目寺の産業を応援しよう～ (16時間)		
【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の伝統産業を知ることにより、地域の産業に興味をもち、地域を愛する心をもつ。 【学習活動】 ①基目寺の伝統産業である刷毛について調べよう。(2時間) ・4年生で学習した「刷毛」産業について振り返る。 ②刷毛組合の方の話を聞く。〔出前授業〕(1時間) ・刷毛の歴史について ・作る行程について ・刷毛の種類について ・これからの刷毛産業について ③刷毛産業についてのまとめをしよう。(4時間) ・聞いたこと、調べたことを今後の学習の資料にする。 【地域人材・関係機関】 ○刷毛組合(刷毛会館)			【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の主な産業を知ることにより、地域の産業に興味をもち、さらに深く調べようとする意欲を高める。 【学習活動】 ①基目寺の主な産業について調べよう。(2時間) ・4年生までに学習した基目寺の産業を振り返る。 ②あま市役所産業振興課の方の話を聞く。〔出前授業〕(1時間) ・農業について ・工業について ・商業について ・今後の産業について ③基目寺の産業についてのまとめをしよう。(4時間) ・聞いたこと、調べたことをまとめる。 ・基目寺の主な産業のまとめをもとにより深く調べたいことをまとめる。 【地域人材・関係機関】 ○あま市役所産業振興課			【ねらい】 ・自分たちが住んでいる地域の産業を調べる活動を通して、地域に生きる人々とふれ合い、地域への愛着をより一層深めるとともに、よりよい郷土にしたいこうとする意欲をもつことができる。 【学習活動】 ①基目寺の産業の中で深く調べたいことについて話し合う。(4時間) ・グループごとに取材先を決める。 ・取材で聞きたいこと、見てきたいことをまとめる。 ②取材に行く。(2時間) ・グループに分かれて取材活動を行う。 ③取材をもとに調べよう。(6時間) ・取材してきたことをもとに、グループで話し合い、インターネット、本、パンフレットなどを活用して調べ学習を進める。 ④まとめ方・発表の仕方を考えよう。(14時間) ・発表の仕方を考える。 ・発表する。 ⑤見つめ直す。(4時間) ・発表会後、学習の振り返りの中で、自分たちが産業の発展のために何ができるのか考える。 【地域人材・関係機関】 ○地元の工業(アイ工業・佐藤工業・石光工業) ○地元の商業(商店街:とくら・樹文・龍鳳堂・米秀・馬場鮮魚店・伊藤書店) ○地元の農業(小松菜農家・ホウレンソウ農家) ○農協 ○基目寺商工会 ○あま市役所			【ねらい】 ・地域の産業のよさを再確認するとともに自分たちの住む地域を誇りに思い、地域の一員として、地域の産業のために自分たちが貢献できることは何かを具体的に考え、地域に働きかけることができる。 【学習活動】 ①これまでの取り組みをふり振り返り、地域の産業の発展のために自分たちに何ができるかを考える。(2時間) ・これまでの取り組みを振り返る。 ②これまでの取り組みを振り返る。 ・地域の産業の発展のために自分たちにできることを考える。 ③地域の産業の発展のために自分たちが地域に貢献できることを行動に表し、地域に働きかけよう。(8時間) ・計画を立てる ・行動に表していく。 ・地域の市に参加する。 ④地域における自らの生き方を考える。(6時間) ・自らの生き方を考える 【地域人材・関係機関】 ①市公共施設 ②商店街 ③基目寺観音「手づくり市」		

あま市立甚目寺小学校

あま市立甚目寺小学校

– 30 –

平成23・24年度 ESDの取組による人や地域との関係の広がり

あま市立甚目寺小学校

